

"熱と光" すみだフェスタ2023

第93回キネマ旬報ベストテン 第37回日本映画復興奨励賞



아이들의 학교
子ども 子供
アイたちの学校 ハツキョ

高賛侑監督 最新ドキュメンタリー

外国人学校に対する官製ヘイト、
技能実習生、難民、入管の実態など
外国人差別の本質にせまる

ワタシたちが ニンゲンド!

WATASHITACHIWA NINGENDA!

우리들은 인간이다 Chǔng talá con người *Ḥami adaláhi manusia* நாடும் மனிதர்கள் Ons is mense
Wir sind Menschen *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N*
Ανθρώποι είμαστε Homines sumus Som humans *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N* *Ḥingē N*
نحن بشر He kanaka mākou พระกรรต้อมมนุษย์ Без кешелар Dnyon ydyn ni Emberek vagyunk
Sisi ni wanadamu ਅਸੀਂ ਦਿਨਸਾਨ ਹਾਂ Anýi bu mmadu Olombelona isika Wij zijn mensen Ми смо люди
Vi är människor Jsme lidé Is daoine muid Ми люди Siamo umani 我們是人類 We are humans

監督／高賛侑

制作／「ワタシたちがニンゲンド!」制作委員会 企画／ライブ映像ワーク

撮影／高賛侑、小山帥人、松林展也 撮影協力・編集／黒瀬政男 テーマ音楽／Akasha
音響効果／吉田一郎 整音／朴京一 ナレーション／水野晶子 宣伝美術・タイトルロゴ／高元秀
ドキュメンタリー／2022年 114分

12/14 上映会

釜山平和映画祭招待上映
東京ドキュメンタリー映画祭「特別上映」
キネマ旬報ベストテン文化映画13位選出
『むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム大賞』大賞
ニューヨーク・インターナショナル映画祭ファイナリスト選出



時間	内容	会場	料金
10:00	ワタシたちがニンゲンド!	大田区民会館	無料
14:00	ワタシたちがニンゲンド!	大田区民会館	無料
18:00	ワタシたちがニンゲンド!	大田区民会館	無料





国連の社会権規約委員会はこう批判しました。「高校無償化プログラムから朝鮮学校が排除されていることを懸念する。これは差別である」。

例えば拷問とかされた人に証拠をどうやって出せって言うんですか。

2020年までに入管の施設内か送還中に死亡した人が確認できただけで23人に上っています。

外国人に対する憲法上の基本的人権の保障は在留制度の枠内でしか保障されない、とこう言ったんですよ。

仮放免を7回お願いしてお願いして、ハンガーストライキ、やりました。39日何も食べなかったんですよ。

私の子どもは日本で生まれたんですよ。日本語がしゃべれないのに戻る時は会話とかできないし。もちろん勉強は絶対できないし住んでるの所もないですよ。

朝鮮人と台湾人は納税の義務は日本人と同様にある半面、社会保障を受ける権利はほとんど認められませんでした。

技能実習制度の根本的な問題でいいですか。奴隷労働だとか人身売買といわれる、その構造があるということですね。

姉は動物のように扱われ、殺されたようなものです。全ての外国人がこの映像を見るべきです。

おい、この野郎。おい、なめてんのか。日本人なめてんだろ。なんだ。やんのか。やるのか。いいよ、いくらでもやっつるよ。この野郎。

ここで死ぬのか、帰されて死ぬのかっていうぐらいの、かなり緊迫した状況がありました。体調悪い人たちの仮放免を求めて70人が一斉にハンガーストライキを始めたということですね。

警官隊はピストルを発射。銃弾は16歳の金太一少年の命を奪いました。

飛行機に乗せる時、入管職員がタオルで猿轡をかませたうえ手錠と結束バンドで両手首を固定し、首を押さえて前かがみにさせたため窒息死したのです。

仮放免になった後も様々な制限がかけられています。一番大きいのは、就労不可とされています。

法的地位200の質問
池上 登喜

煮て食おうと焼いて食おうと自由



公式ウェブサイト
<http://ningenda.jp>

「私たちは動物ではない。人間だ！」

2021年3月、スリランカ人女性ウイシュマ・サンダマリさん(33)が名古屋入管で死亡した。彼女の死は長年ベールに包まれてきた入管の闇を、公権力による外国人差別の歴史を象徴する事件と言って過言ではない。戦後、日本政府は、在日外国人の9割を占めていた韓国・朝鮮人の管理を主目的とする外国人登録法などを制定した。そして後年、他国からの在留者が増えると、全ての外国人に対する法的・制度的な出入国管理政策を強化してきた。

- ◆在日コリアン／高校無償化制度から朝鮮学校を排除。幼児教育・保育の無償化制度から外国人学校を排除。
- ◆技能実習生／長時間・低賃金労働。暴力・不当解雇・恋愛禁止等の人権侵害事件多発。
- ◆難民／難民認定を極端に制限。認定率は諸外国の20～50%に比べ、日本は1%未満。
- ◆入管／被収容者に対する非人道的な処遇が常態化。

高賛侑監督は前作「アイたちの学校」で朝鮮学校差別問題に焦点を当て、国内外で大きな反響を呼んだ。本作品では、全ての在日外国人に対する差別政策の全貌を浮き彫りにする。



"熱と光"すみだフェスタ2023 「ワタシたちハニンゲンダ」上映会

12月14日(木) 18:15開場 18:30開始

会場：墨田区社会福祉会館 (墨田区東墨田2-7-1) 3Fホール

主催：部落解放墨田区民共闘会議 (連絡先 03-3614-1903 部落解放同盟墨田支部)

◆後援／国連・人権勧告の実現を！実行委員会

参加費：500円